

I 調査結果の概要

1 原料用かんしょ生産費

(1) 平成18年産原料用かんしょの10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は12万3,293円で、前年に比べ0.6%増加し、100kg当たり全算入生産費は3,924円で、10a当たり収量が減少したことから前年に比べ5.6%増加した。

(2) 10a当たり全算入生産費が増加したのは、肥料価格の上昇に伴い肥料費が増加したことと、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したこと等による。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が減少したことから前年に比べ4.8%減少し、9万9,335円となった。

図1 主要費目の構成割合（10a当たり）

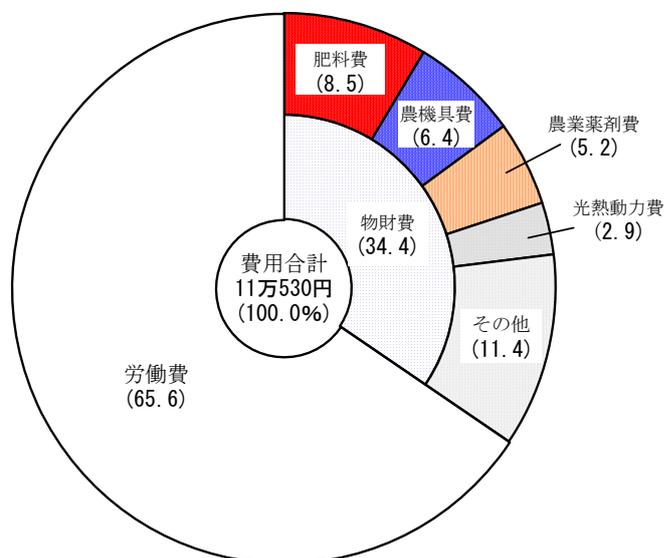


表1 原料用かんしょの生産費及び収益性

区 分		10 a 当 たり		100 kg 当 たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
		円	%	円	%
生 産 費	物 財 費	38 077	4.9	1 211	10.0
	労 働 費	72 453	△ 1.3	2 307	3.8
	費 用 合 計	110 530	0.8	3 518	5.9
	生産費（副産物価額差引）	110 530	0.8	3 518	5.9
	支払利子・地代算入生産費	113 617	0.8	3 616	5.9
	資本利子・地代全額算入生産費	123 293	0.6	3 924	5.6
収 粗	収 量	3 139 kg	△ 4.9	-	-
	収 益	99 335	△ 4.8	-	-

2 原料用ばれいしょ生産費

(1) 平成18年産原料用ばれいしょの10a当たり全算入生産費は7万1,322円で、前年に比べ0.8%増加し、100kg当たり全算入生産費は1,747円で、10a当たり収量が減少したことから前年に比べ7.8%増加した。

(2) 10a当たり全算入生産費が増加したのは、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したこと等による。

(3) 10a当たり粗収益は、収量が6.3%減少したことに加え、でん粉量が減少したことから前年に比べ11.3%減少し6万8,791円となった。

図2 主要費目の構成割合（10a当たり）

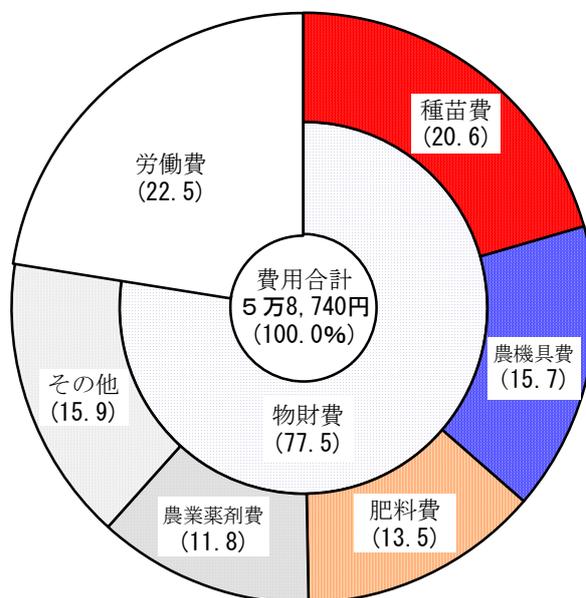


表2 原料用ばれいしょの生産費及び収益性

区 分		10 a 当 たり		100 kg 当 たり	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
		円	%	円	%
生 産 費	物 財 費	45 528	1.0	1 115	7.9
	労 働 費	13 212	△ 2.6	324	4.5
	費 用 合 計	58 740	0.1	1 439	7.1
	生産費（副産物価額差引）	58 740	0.1	1 439	7.1
	支払利子・地代算入生産費	61 513	0.2	1 507	7.3
	資本利子・地代全額算入生産費	71 322	0.8	1 747	7.8
収 量		4 093 kg	△ 6.3	-	-
粗 収 益		68 791	△ 11.3	-	-

3 てんさい生産費

(1) 平成18年産てんさいの10 a 当たり全算入生産費は9万7,281円で、前年に比べ1.5%増加し、1 t 当たり全算入生産費は1万6,694円で、10 a 当たり収量が減少したことから前年に比べ7.2%増加した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が増加したのは、病虫害の発生により農業薬剤費が増加したことや、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したこと等による。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量が減少したこと等から前年に比べ6.8%減少し9万4,397円となった。

図3 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

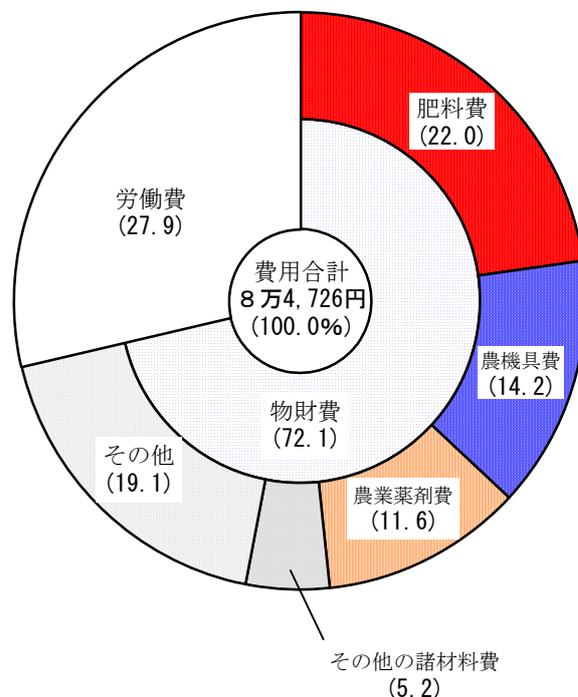


表3 てんさいの生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		1 t 当たり	
	実数 円	対前年増減率 %	実数 円	対前年増減率 %
物財費	61 106	2.8	10 487	8.5
労働費	23 620	△ 1.2	4 052	4.3
費用合計	84 726	1.7	14 539	7.3
生産費（副産物価額差引）	84 726	1.7	14 539	7.3
支払利子・地代算入生産費	87 851	1.5	15 076	7.1
資本利子・地代全額算入生産費	97 281	1.5	16 694	7.2
収量	5 828 kg	△ 5.2	-	-
粗収	94 397	△ 6.8	-	-

4 大豆生産費

(1) 平成18年産大豆の10 a 当たり全算入生産費は6万428円で、前年に比べ6.9%減少し、60kg当たり全算入生産費は2万1,299円で前年に比べ2.7%減少した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が減少したのは、光熱動力費等が増加したものの、1戸当たり作付面積が増加したことに伴うスケールメリットにより労働費が減少したことによる。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量が減少したこと等から前年に比べ5.5%減少し3万9,828円となった。

図4 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

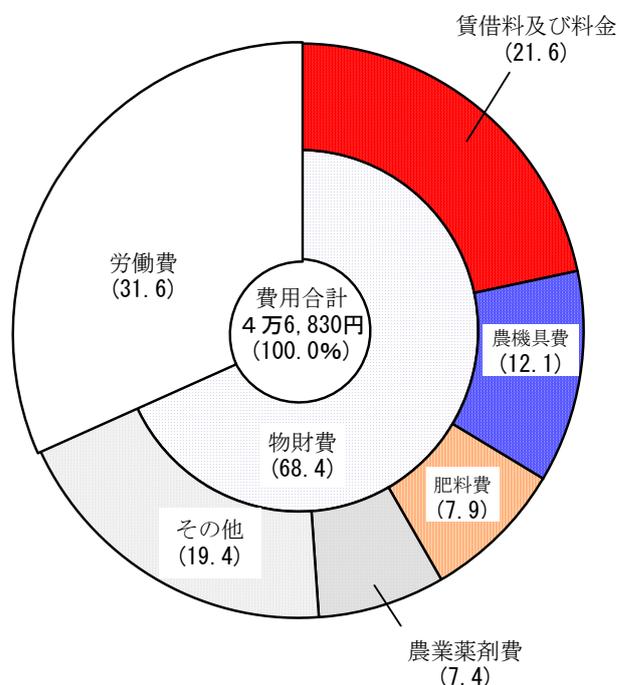


表4 大豆の生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		60 kg 当たり		
	実数 円	対前年増減率 %	実数 円	対前年増減率 %	
生産費	物財費	32 048	△ 3.6	11 296	0.8
	労働費	14 782	△ 13.6	5 210	△ 9.7
	費用合計	46 830	△ 7.0	16 506	△ 2.8
	生産費（副産物価額差引）	46 612	△ 7.2	16 429	△ 2.9
	支払利子・地代算入生産費	52 582	△ 6.8	18 533	△ 2.6
	資本利子・地代全額算入生産費	60 428	△ 6.9	21 299	△ 2.7
収粗	収量	171 kg	△ 3.4	-	-
	収益	39 828	△ 5.5	-	-

5 さとうきび生産費

(1) 平成18年産さとうきびの10 a 当たり全算入生産費は17万2,484円で、前年に比べ1.1%増加し、1 t 当たり全算入生産費は2万7,093円で、10 a 当たり収量が増加したことにより前年に比べ4.4%減少した。

(2) 10 a 当たり全算入生産費が増加したのは、収穫委託作業の増加等に伴い賃借料及び料金が増加したことと、原油価格の高騰により光熱動力費が増加したこと等による。

(3) 10 a 当たり粗収益は、収量が増加したことや糖度が上昇したことから前年に比べ7.7%増加し、13万4,597円となった。

図5 主要費目の構成割合（10 a 当たり）

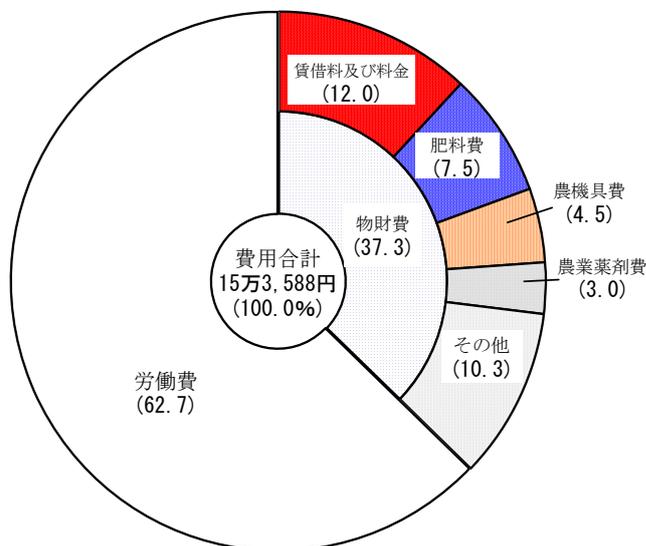


表5 さとうきびの生産費及び収益性

区分	10 a 当たり		1 t 当たり	
	実数 円	対前年増減率 %	実数 円	対前年増減率 %
物財費	57,305	7.2	9,003	1.3
労働費	96,283	△ 2.4	15,122	△ 7.8
費用合計	153,588	1.0	24,125	△ 4.6
生産費（副産物価額差引）	153,365	1.0	24,090	△ 4.6
支払利子・地代算入生産費	159,081	1.0	24,988	△ 4.5
資本利子・地代全額算入生産費	172,484	1.1	27,093	△ 4.4
収量	6,367 kg	5.9	-	-
粗収益	134,597	7.7	-	-